

(様式2)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	4 9	学校名	宇都宮市立雀宮南小学校
-----	---------------	------	-----	-----	-------------

令和6年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

- ・国語においては、4・5・6学年ともに、どの領域も正答率が国や市の正答率より下回っている。特に、「書くこと」については、無回答率が国や県と比べて高い。
- ・6年生の社会においては、どの領域も市の平均を下回っており、特に「農業や水産業」領域での正答率が、市の正答率を大きく下回っている。また、【活用】に対して【基礎】の方が、市の平均との開きが大きい。
- ・算数においては、4・5・6学年ともに、どの領域も正答率が国や市の正答率より下回っている。さらに、【思考・判断・表現】や【活用】については、市の正答率を大きく下回っている。
- ・理科においては、4・5・6学年ともに市の正答率を下回っているものの、5学年について、「エネルギー」領域については市の平均を上回っている。4年生についても、「生命・地球」領域での正答率については市の正答率を上回っており、領域ごとに差が見られる。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・2～6学年について、勉強は好きではないと答えている児童の割合が市と比較すると高く、低学年から勉強嫌いの実態が見られる。特に、国語・社会・算数を否定的に捉える児童が多い一方で、8～9割の児童が、国語や社会・算数は将来のために大切だと考えている。
- ・学習の仕方について、グループなどでの話し合いに自分から進んで参加していると答えている児童は市の平均を超えるものの、理由をあげながら自分の考えを話したり、物事を比べながら考えたりしていると答えた児童の割合は市の平均を下回っている。対話的な学びや協働的な学びへの姿勢については意欲的であるが、その内容や取組み方に課題が見られる。
- ・「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「学習して、いろいろなことが分かったりできるようになったりすることは嬉しい」と答えている児童は市の平均を下回っており、学習への達成感や充実感、学ぶ意義や楽しさを感じられていない。
- ・ゲームをしている時間、DVD・テレビ・動画を視聴している時間については、平日は1時間程度と答えた児童が多いが、休日については3時間以上と答えている児童が多く、休日の過ごし方に課題が見られる。
- ・家庭における読書時間が全体的に少なく、読んでいる児童と読んでいない児童との二極化が見られる。

(3) 授業等への取組状況から

- ・チャイムで着席したり、授業に必要な学習用具を忘れずに持ってきたりするなど、基本的な学習習慣が身に付いている児童が多い。グループでの話し合い活動には積極的に参加する児童が多い一方で、話し合う目的の理解が不十分だったり、意見の発表にとどまっていたりするなど、話し合い活動を通して自分の考えを深めることについては十分とは言えない。
- ・学習問題に対して、自力解決・協働を通して結論を導き振り返るといった1時間の学習サイクルが身に付いてきており、見通しをもちながら学習する児童が多く見られるようになってきた。
- ・家庭学習においては、出された課題にしっかりと取り組む児童が多い。既習内容の復習やテストの解き直しを行っている児童も増えてきているが、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童は十分とは言えない。

2 今年度の重点目標

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進（南小授業モデルの実践，協働的な学びの場の設定・ICTの効果的活用）
- ・基礎学力の定着と家庭学習の習慣化に向けた取組の工夫（朝の学習・自主学習の活用，習熟度学習・教科担任制の推進・家庭学習強化週間の実施）
- ・学ぶ意欲を高め，学ぶ喜びを感じられる問題解決的学習の充実（できる・分かる・楽しい授業の推進，実生活とつながる課題の設定，考えを伝え合う活動の設定）

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★，「令和6年度指導の重点」に関する取組は文頭に□，授業における取組のうち重点は文頭に○）

（1） 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- ★□「宇都宮モデル」の「はっきり」「じっくり」「すっきり」を踏まえた南小授業モデルの実践
 - 体験活動や既習事項の振り返り・視点の明確化などによる自分の考えをもつための場の設定
 - ・結果の見通しや方法の見通しをもたせるなど，児童が追究・解決の手がかりを見いだすための導入の工夫
 - 各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせ，思考を促す学習活動の工夫
- 児童が自分の考えを基に，他者との対話を通して，考えを深めるための協働的な学びの場の設定
 - ・ペア学習や小グループなど，話し合い活動を充実させる学習形態の工夫
- ★○互いの考えを共有し，学び合いを通して考えを深めるためのICTを含めたツール等の効果的な活用
 - 児童個々の思考をつなげ広げていくための教師のコーディネート力の向上
- ★児童の学習の振り返りや各種調査結果を生かした指導の改善

（2） 基礎学力の定着と家庭学習の習慣化に向けた取組の充実

- TT等を取り入れた朝の学習の充実
- ★○漢字・計算ドリル，AIドリル等を活用した反復練習
 - ★学習したことを振り返り，まとめ直したりするなど，家庭学習の内容の充実
 - ★家庭学習強化週間（6・9・12・2月実施）を通した家庭学習の習慣化
 - ・学習・行事等の振り返り，短作文指導を通した自分の思いや考えを書く力の育成
- 読書活動を通した語彙力・表現力の育成
- 学びを深める協働的な学びの達成に向けたコミュニケーション能力の育成
 - ・安心して考えを伝え合い，互いに高め合える学級集団づくり
- ★・年間を通した習熟度別学習の実施や教科担任制の推進

（3） 学ぶ意欲を高め，学ぶ喜びを感じられる問題解決的学習の充実

- ねらいに迫る適切な課題設定
 - ★児童の知的好奇心をゆさぶる課題提示の仕方の工夫
- 児童の気づきや問いから学習問題を作るなど，児童と教材とを関連付け，学習する意義を感じることができる学習活動の展開
- ★□○児童が学習の見通しを立て，体験や既習内容を生かしながら解決に導く学習活動の展開
- ★□○獲得した知識を関連付けて深く理解したり，日常生活や他教科で活用したりする教科横断的な学習活動の工夫
 - 新たに獲得した知識と既存の知識とを関連付けたり組み合わせたりしていくことで，様々な場面で活用できることを実感できる授業展開の工夫
 - 自分の変容や成長を実感できる振り返り活動の工夫